

## 和寒町商工会女性部との意見交換会

団体名: 商工会女性部

開催日時: 令和7年11月18日(火) 18時30分~20時00分

会場: 議場

質問事項	行政側回答	担当議員	担当議員回答
商工業について ① 空き店舗を利用してくれる人材の確保及び助成金はありますか？	<p>空き店舗の活用につきましては、町ではホームページ上に「空家・空き地バンク」を開設し、有効な資源の利活用を進めております。その中で空き店舗の情報も掲載しており「売りたい・使ってほしい」方と「買いたい・使いたい」事業者とのマッチングを進めてまいります。</p> <p>町ホームページ以外で、空き店舗所有者のご意向や空き店舗を活用したい事業者などの情報がありましたら、商工会を通じて情報提供いただければと思います。</p> <p>新規開業される事業者には「商工業新規就業対策事業補助」により100万円、空き店舗を購入される場合は50万円を限度に補助する制度を町で設けています。</p> <p>今後とも、情報の共有とマッチングの促進に努めてまいります。</p>	遠山	他の自治体では、空き店舗の補助と人材確保の補助をミックスしている状況がトレンドで、例えば美深町は空き店舗に約半分の家賃補助、新規事業者には3年間毎月7万5千円の補助を行い、人材に残ってもらう補助を出している傾向があります。 改めて一般質問等で訴えていきたいと思っています。
② 新たな特産品開発の予定はありますか？	<p>町内の事業者や農業者においては、これまで様々な特産品の開発研究に取り組んでいただいており、町の「地場産業開発研究補助」を活用して85件の助成をしております。</p> <p>ふるさと納税の返礼品として新たに取り組まれる事業者や、特産品の新たな開発を進めている事業者もいることから、町として意欲ある事業者を今後とも支援してまいります。</p> <p>なお特産品PRについては、町・商工会・観光協会・JA北ひびきで構成するフードツーリズム推進協議会において、町外事業者との企業連携事業により特産品の普及拡大に向けて取り組んでおります。</p>	池澤	ふるさと納税の返礼品やフードツーリズムとしてどんどんこプラザでも売っています。町の補助を活用しながら商品開発してもらえば、そういうところでもPRできるので商工会の中でも広めていただけたらと思います。
③ 空き地を利用したイベントなどは考えていますか？	<p>本町の各種イベントは、地域や観光協会、各関係団体が実行委員会を結成するなどして、主体となって企画実施されております。主催者側よりイベントの開催場所として町有地の利用を希望された場合には、これまで町として協力を実行してきました。</p> <p>町として独自のイベント開催の計画は現在のところありませんが、町民の皆さんのが楽しめるようなイベントの提案が寄せられれば関係部局と連携しながら検討してまいります。</p>	池澤	今年新たに収穫祭が開催されるので期待しています。また、吉本芸人のあとむさんがふるさと応援大使に任命されたので、人気を是非活用して、コラボ商品販売など何かできないか私も協力したいと思うので、そのような提案もしていただけたらと思います。
④ 商工業応援補助金について継続の予定はありますか？	<p>町は、令和4年度から3年間実施しました「中小企業経営基盤強化促進補助」で事業者の増改築や設備導入に82件、40,662千円の支援を行いました。</p> <p>その後継事業として、今年度から商工会が実施する「商工業応援補助」を、令和9年度までの3年間の時限措置として町として全面的に支援することとしております。</p> <p>それ以降の継続については当該事業の推移を商工会と確認しながら検討してまいります。</p>	遠山	町の予算の毎年の財源とか事業の必要性によって決まるので、現段階では分からぬ状況です。 商店街の活性化が今後重要な思いますので、中小企業の補助と商工会と町の連携を強めていただきたいと訴えていきたいと思います。
⑤ 若者の定住促進や雇用確保について何か考えはありますか？	<p>現在、新規就農を志す若者が地域おこし協力隊員として、農業技術の習得や実践的研修を通じて地域での就労基盤づくりを着実に進めており、同じような思いを持つ若者を募集しています。</p> <p>芳生苑等の指定管理者を務める社会福祉法人ゆうゆうでは一昨年から道内の大学生を町に招へいし、町内各地のフィールドで体験や交流を重ねるプログラムを実施しています。これにより将来地方を支える福祉人材の育成を着実に推進し、福祉分野の人材確保と地域づくりの相乗効果を期待しています。また「町の魅力を発信する」「子育てを支援する」「食で居場所づくり」でそれぞれ地域おこし協力隊員が日々精力的に活動されていることや、SNSなどを通じて全国に和寒の魅力を伝える「ふるさと応援大使」のご協力をいただきながら、これまで以上に若い世代を中心に和寒町での生活、農業や子育て環境、福祉資源などに魅力を感じて注目や関心が高まるることを期待しています。</p> <p>平成27年度から町の奨学資金の貸付を受けた者が返還を行う期間中、本町で生活する場合に返還額の1/2を減免する「ふるさと生活応援事業」を行い、令和6年度からは若年層の就業者に対し、学生時代に貸与を受けた奨学金の返還額の一部を町が補助することで、定住やUIJターンを促進する「奨学金返還支援補助制度」を始めています。</p> <p>今後はこうした取り組みを相互に連携させ、定住促進と雇用機会の確保をより一層推進してまいります。</p>	村岡	協力隊は現在4名が来ています。 吉本芸人のあとむさんはすごく人気も上がっており、そういった方を活用しながら町のPR活動をして若者の定住促進や雇用につながっていけばと思います。 定住は住む場所を整備するため空き家の活用方法も今後考えていかなければなりません。議会も強く要望していく必要があると思っています。

質問事項	行政側回答	担当議員	担当議員回答
⑥ 物価高騰により、商工業や農業に對して補助があれば良いと思います。 (例えば商工業は米や電気代、灯油の補助。農業は肥料や水道代の補助など。)	これまで国の交付金を活用して一人 5 千円の「お買い物クーポン券発行事業」や、物価高騰等によって生じた町内消費落ち込みの早期回復と地域経済の活性化を図るため 20% プレミアム付き商品券「和寒元気！ プレミアム応援券発行事業」を町単独事業として実施してきました。 物価高騰の影響は、商工業のみならず農林業分野でも大きな問題です。 国は政権が変わり様々な政策が議論されているところですが、国の支援対策の拡充や充実を求めるとともに、情報収集に努め、必要な支援が実施できるよう関係機関と連携して取り組んでまいります。	村岡	今後は ICT を活用した事業も入れていくべきと思っています。農業では無人トラクターや作業機械などで、商工関係も何か ICT を活用して担い手も育っていくことがあれば是非教えてほしいのと、私たちも勉強して補助事業として町に提案していきたいと思います。
⑦ プレミアム応援券の継続は考えていますか？	毎年度商工会からの要望を受けてプレミアム応援券事業を実施しております。今後も商工会と相談をしながら事業の継続について検討してまいります。	石田	プレミアム商品券は商工会の大事な事業の一つで、継続の検討は当たり前と思っています。
● 加工センターが使えなくなると聞きましたが、どうなりますか？ 売るものに対しての衛生面は分かりますが、自分たちで消費して売っているわけでないようなものに対しては別と思います。 残してほしいです。	加工センターは昭和 58 年の設置から 40 年余りが経過し、施設の老朽化が進んでいる状況です。 これまで、トマトジュースや味噌の製造許可を取得し、生産者団体による販売や、一般利用による食生活の改善、生産物の有効活用、付加価値の向上といった多くの目的に寄与してきました。 町としては、現在、加工センターを現状維持で運営していく方針であり、皆様に引き続きご利用いただけるよう努めてまいります。 一方で、老朽化に伴う保健所の製造許可基準を完全に満たすための大規模改修や建て替えには、非常に膨大な事業費が必要となり、農家戸数の減少や人口減少による利用件数の落ち込みも踏まえると、現時点では大規模な投資は難しいと考えています。 今後、施設の具体的な利用実態を詳細に把握した上で、関係者の皆様と丁寧に協議をしながら、今後の加工センターの方向性について検討を進めてまいりたいと考えています。	中原	老朽化により衛生面等様々な課題があり、町の財産のため何かあれば町が責任を負わなければいけません。採算合わず赤字ですが、町民の憩いや加工を作る楽しみ、皆さん方がこれからも残してほしいということであれば、議会も行政側に伝えながら協力していきたいと思います。
● トマトジュースはもう和寒では売れなくなったんですか？ 美味しいものは売れるはずです。減りました、もうやりませんというのはもったいないと思います。	従来のトマトジュースについては、ご指摘のとおり生産者団体の皆様の高齢化などにより、製造本数が減少傾向にあります。一方で、町では近年、有機栽培によるトマトジュースの製造という、新たに意欲的な取り組みが始まっています。町の特産品として積極的に紹介し、販売を後押ししております。 トマトジュースの製造環境である加工センターについては、現時点では大規模な投資は難しい状況ですが、生産者の皆様が今後もトマトジュースを製造販売できる環境を維持するため、現状維持で運営していく方針です。	中原	温暖化の影響でトマトがなかなかできず、年々売れる本数が少なくなっています。 それぞれの事情で本数をどうしていくか判断しながら、売れる分を絞りながら販売しています。

福祉について	⑧ 新しく建設される福祉施設の経営について、赤字の場合は町が補填することになっていますが、上限は決めてあるのでしょうか？	町は令和 6 年 3 月に社会福祉法人ゆうゆうと「和寒町ふくしのまちづくりに関する基本協定」を締結し、その協定では「施設運営開始の翌年から 8 年間は収益的収支における損失分を支援する」としています。 その金額については、毎年度の法人から提出される事業計画及び収支計画を確認し必要な金額を決定しますが、現段階においては上限額の設定を考えておりません。	酒向	本格的な数字が決まってないので、上限は決めていません。和寒町は今まで障害者福祉事業はしていないので、障害者は町外に行き国からの給付費も町外に出ていました。今後は町外の方も和寒町の施設を利用したいと来ることも予想され、給付費を取り戻すことができると思います。
	⑨ 福祉施設を経営しているゆうゆうが撤退した場合、施設は町が買取るのですか？	法人では経営の厳しい施設入所サービスに加え、在宅介護サービスや障がいのある方の支援サービスなどを組み合わせて収支の改善を図り、できる限り早い段階で黒字化をめざすとしています。 町はこうした法人の姿勢に期待しており、将来にわたって長く施設運営をしていただけるものと考えておりますので、法人の「撤退」を想定しておりません。	石田	令和 6 年 3 月に町とゆうゆうが「和寒町ふくしのまちづくりに関する基本協定書」を結び、協議をした中で今後進めていくとしていますので、撤退は行政も議会も想定しておりません。
	⑩ 福祉施設の設計者は東京の方と聞いているが、冬の除雪などを考えた上での設計になっていますか？	福祉施設の設計は法人の依頼を受けて東京に事務所のある「一級建築士事務所 tec」が行っております。 設計者は、北海道の「公共建築工事標準仕様書」を基に、地元の事業者から情報収集した積雪寒冷地の地域性を十分に組み入れながら福祉施設の設計を進めています。 また除雪については町内の除雪事業者と直接、意見交換しながら設計に反映しています。	蓬田	除雪に関しては町内除雪業者とも話をしながら進めています。

質問事項	行政側回答	担当議員	担当議員回答
福祉について	<p>⑪ 福祉施設は地元からの雇用促進や人材育成に関する支援はありますか？</p> <p>今「芳生苑」と「健楽苑」で働いている職員が新たに整備される福祉施設の職員として引き続きサービスを提供していきます。</p> <p>また、法人では他の施設に職員を派遣するなどして、新たなサービスへの対応や専門性を高める研修を行い、職員のレベルアップと人材育成に努めております。</p> <p>さらに必要な人員確保に向けて町内外から人材を募る計画であり、町としても介護福祉士受験資格の実務者研修等の資格取得費用、転入者に最大5年間の家賃助成、事業所の就業応援金、人材募集費用に対して支援をしています。</p>	酒向	将来、障害者担当の資格取得のため他の施設に2年間研修している方もあります。構想に向けて人材育成も始まっており、今後障害者のメニューが増えるので資格等必要になり、育成していくことになります。
	<p>⑫ 和寒町の高齢化は全国の平均値より高い状態ですが、介護支援について他市町村に「ここは負けていない」と思う支援は何ですか？</p> <p>また、仕事をしながら自宅介護をする人への助成などはありますか？</p> <p>10月末現在の高齢化率は46.76%で、全道33.4%、全国29.6%(共にR7.1月現在)と比較しても高い水準にあります。地域包括支援センターを中心とした訪問や民生委員、地域住民等との連携により、在宅高齢者一人ひとりの情報を早期に把握し必要なサービスにつなげる体制がとれていることは介護されているご家族などの安心につながっていると考えています。</p> <p>また人口規模の小さい自治体で在宅介護サービスが立ち行かなくなってきた中、町では町内で唯一ホームヘルプサービスを実施している民間サービス事業者の運営継続のための支援を行っています。</p> <p>在宅高齢者ご家族に対する支援として金銭による直接的な助成制度はありませんが、日頃の介護でお疲れのご家族様が少人数で心の内を打ち明けあい交流できる場を提供しております。これは「認知症カフェ(ひとさやカフェ)」として年間4回開催しており、日頃の悩みや愚痴を共有し気持ちをリフレッシュできる機会となることを願っております。</p>	酒向	保健福祉センター、社会福祉協議会それが熱心に行い、かなり細かく情報を掴んでいます。仕事しながら自宅介護への助成はありませんが、デイサービス等をどんどん利用してほしいと思います。これからふくしまちづくりで行う訪問介護、訪問看護、見取りに関してもっと進めていく形になっていけば、自宅で安心していられる、できるだけ長く自宅にいられる状況になると思います。
	<p>● 食の拠点で厨房も誰でも利用できますとありますが、どういう対象になるのでしょうか？</p> <p>食の拠点では特養入所者やデイサービス利用者の食事提供、在宅高齢者などへの弁当配食サービスのほか、町民の方が自由に利用できる和寒町の食材を使ったテイクアウトやイートインできる「みんなの食堂(仮)」を計画しています。</p> <p>厨房は保健所から営業許可を取りますので、食品衛生管理上、不特定多数の方が利用することはできませんが、2階のフリースペースのキッチンではシンクやIHヒーター、レンジなどを設け、お菓子づくりや軽い調理、お茶の提供など利用できるよう検討しています。</p>	窪田	「集う場所」が一つのキーワードです。厨房も実際どのような形かまだ分かっていません。ゆうゆうの大原さんは子どもも含め誰でも来られるオープンな共有スペースの確保を考えています。
	<p>● 屋根の形は分かれますか？</p> <p>特別養護老人ホームの居室は、ゆるやかな水勾配のついた片流れ屋根。</p> <p>特養のリビング部分や共有スペースは積雪深130~200cmを想定した無落雪屋根とし、一部雪庇防止柵の設置を計画しています。</p>	窪田・酒向	屋根は大通りの延寿のようなフラット型となります。
	<p>● 当初の想定より建設費が高騰していますが、どれだけ高騰してもこの計画でいくのでしょうか？</p> <p>この事業は「誰もが住み続けられるまち」を実現するための重要な一步です。町民の皆さまの福祉向上と、将来にわたる地域の活力を維持するために、必要な機能の確保が求められています。</p> <p>しかし、ご質問のとおり昨今的人件費や資材価格の高騰が、新たな施設整備における最大の懸念事項と認識しております。施設の用途や必要性を再検証し、ムダのない最適な規模になるよう設計段階から調整しており、また、資材価格の動向を注視し、代替材料の検討や経済的な工法を選択することで、建設費用の抑制に最大限努めてまいります。</p> <p>町としましては、この施設整備に係る費用を負担するにあたり、将来世代に過度な負担を残さないよう、健全な財政運営を常に念頭に置いて事業を推進してまいります。そして、この施設が地域の未来に資するよう、引き続き、透明性をもって事業を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>	酒向	国の方針で全個室になり建物自体の圧縮は難しいですが、付帯設備は圧縮を考える所はあると思います。
	<p>● 特養は介護3からの入所ですが、入所できない介護3手前の状態の方も見ていただけるようになりますか？</p> <p>ご質問のとおり特養は原則として介護保険の「要介護3」以上の認定を受けた65歳以上の方が対象です。これは、特養が在宅での生活が困難になった中重度の要介護者のための施設と位置付けられているためです。</p> <p>「要介護3の手前」である要介護2までの方については、住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、社会福祉法人や介護事業者と連携して在宅での支援サービスを充実させて対応する体制を整えてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問介護、訪問看護: ご自宅にヘルパーや看護師が訪問し、身体介護や生活援助、医療ケアなどを提供します。</li> <li>・通所介護(デイサービス): 日帰りで施設に通い、入浴や食事、レクリエーション、機能訓練などを受け、心身機能の維持を図ります。</li> <li>・短期入所生活介護(ショートステイ): ご家族の介護負担軽減や病気などで一時に介護ができない場合に、施設に短期間入所して生活をサポートします。これにより要介護度が進むことを予防し、できる限り長く在宅生活を継続できるようサポートすることが町の基本的な方針です。</li> </ul>	窪田	特養だけではなく色々な機能性を含めた中で、かたくり荘の活用方法も考えています。

	<p>ただし、要介護1～2の方でも、以下のようなやむを得ない事情により、在宅生活が著しく困難であると認められる場合は、特例的に入所が認められる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居で家族や近隣からの支援を受けることが困難な場合</li> <li>・認知症などで日常生活に著しい支障が生じている場合</li> <li>・虐待を受けている、または虐待の恐れがある場合</li> <li>・その他、生命の危険が生じる可能性があるなど、緊急性の高い場合</li> </ul> <p>ご本人やご家族の状況がこれらに該当するかどうか、まずは担当のケアマネージャーに詳しくご相談ください。</p> <p>町としては施設整備と並行して、在宅サービスの充実、そして福祉人材の確保にも力を入れ、要介護度に関わらず全ての住民が安心して暮らせる地域社会を目指してまいります。</p>	
--	---	--

質問事項	行政側回答	担当議員	担当議員回答
その他 ⑬ 松岡墓地の草刈りはされていましたが、中和墓地の草刈りはされていませんでした。草刈りはどこが行うのでしょうか？	中和墓地は令和6年に地域での草刈り作業が困難とのことから、業者による草刈りに変更となっています。令和7年はお墓参りが増える期間を考慮して8月5、6日に墓石前の通路部分を業者により実施してきております。		
● 中和墓地は草がひどく、通路だけじゃなくて全体的に刈っていただきたい。草刈り機で刈るには時間が掛かりすぎではないですか？	墓地全体の面積が広い中、中和墓地においては墓石のない区画が多く、また墓ついが近年増加し、墓石のない区画が増えています。このため墓地全体の草刈りには多大な費用が掛かるから、次年度においても通路部分の草刈りについて予算計上する考えです。 作業時間については37通路部分と8号道路に面した敷地について町内業者委託し、2日間で実施しています。ご指摘の点は事業者に人員確保していただき作業日数を減らすことが可能なのか相談させていただきます。	池澤	西和では地域の若者で草刈りしていましたが難しくなり、町が業者に委託したところ、少ない予算で通路しか刈ってもらえず自治会に戻した経緯があります。予算を上げてもらうよう町に要望するだけではなく、町が業者と打合せしてきれいに草刈りできないか話したいと思います。
● 松岡墓地は10日ほど早くしてもらえたら助かります。時期的なものは考えていただきたい。	松岡墓地については、地域の方によって草刈り作業を年2回(7/7, 8/4)実施していただいている。お盆参りの時期を考慮し作業を行っていただいているので、地域の方の都合もあることから引き続き適正な時期に作業をお願いしていきます。	中原	松岡墓地は近郊農家の方が行っていて、農作業もあり無理にお願いすることもできませんが、ご意見は伝えさせていただきます。
● 駅の花壇をせっかくきれいにしても、ごみが散らかっていたりクスサンがひどかったりする。トイレも汚いし、駅は町の玄関口だから清掃だけでも予算付けしてもらえないか？	毎年、駅の花壇をきれいに管理していただきありがとうございます。和寒駅はJR北海道の所有物で、管理は土別駅が担当し、トイレの清掃は委託により実施されています。 管理が不十分な点は土別駅に申し入れを行いますが、町の予算で清掃することは難しいと考えます。年数回ですが、役場職員等によるボランティア活動で清掃や草刈に努めてまいります。	窪田	駅のトイレは各議員が提案していますが、結論では現町長はやらないとしています。予算委員会等で伝えています。

(①～⑬は事前アンケート、●は当日の質問事項)